

【技術科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	オリエンテーション(1時間)	・技術の授業の進め方、技術室のルールや使い方について知る。 ・授業で使う技術の教材を整え、使い方を知る。			・説明をしっかりと聞き、理解しようとしている。	・電子黒板による説明
5	[A教材と加工の技術] ・生活や産業の中で利用される技術 ・木材の特徴 ・ものづくりの手順(6時間)	・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考える。 ・材料の特徴と利用方法を知る ・材料に適した加工方法を知り、工具の使い方を理解する。	・技術の役割と発達による私たちの生活の変化について説明できる。 ・道具や機械の定義を理解し、説明できる。 ・木材の種類や各部の組織の名称や特徴、繊維報告と強度の違いの関係、収縮や変形の様子を説明できる。	・技術の発達や生活の変化について考え、教科書やその他の資料を参考に調べまともめ方を工夫している。 ・「もの」の変化の今昔について考え、生活の変化にき気づくことができる。	・生活の中で技術の果たす役割について調べようとしている。 ・日常生活の身の回りの製品に使われてる材料に関心をもとうとしている。 ・ものづくりの流れを考え、ノートにまとめようとしている。	・電子黒板による説明 ・書画カメラを用いて電子黒板に投影
6	[A教材と加工の技術] ・生活に役に立つものをつくろう ・製作準備 ・設計(工程表・構想図) ・けがき ・切断 ・部品加工(6時間)	・材料と加工に関する技術の適切な評価・活用について考える。 ・使用目的や使用条件に即して機能と構造について考える。 ・構想の表示方法を知り、製作図をかくことができる。	・製作品の使用目的と機能について理解している。 ・製作品に用いる材料の特徴と利用方法について理解している。 ・製作図の作成に必要な手順や構成を表現するために必要な知識を身につけている。 ・目的や条件に応じた加工方法を理解している。	・技術室の安全な使用方法で作業できる。 ・接合方法に従い、正確に材料を接合することができる。 ・さしがねや直角定規を使い部品や接合における検査ができる。 ・工具の正しく使用する。 ・工具や工作機械の特徴をとらえ、正しく、安全な使用方法で行うことができる。 ・目的とする生物の育成計画を立てることができる。	・材料の特徴について進んで調べようとしている。 ・作業に積極的に取り組もうとしている。 ・つくりたい作品の製作図を意欲的に作成しようとしている。	・電子黒板への説明資料の投影 ・書画カメラを用いて電子黒板に投影
7						
9	[A教材と加工の技術] ○組み立て ○仕上げ(6時間)	・材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。 ・部品加工、組立て及び仕上げができる。	・製作品の使用目的と機能について理解している。 ・製作品に用いる材料の特徴と利用方法について理解している。 ・製作図の作成に必要な手順や構想を表示するために必要な知識を身につけている。	・設計や製作の段階で、それぞれのような作業がある過程をあげることができる。 ・目的の動作を実現するための選択や工夫ができる。	・設計を進めるために考えなければならないことを理解し、設計に必要な要点を考えようとしている。 ・選択した接合方法に従い、製品の組み立てを丁寧に行おうとしている。 ・作品の仕上がりをよくしようとしている。	・電子黒板への説明資料の投影 ・書画カメラを用いて電子黒板に投影

【技術科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10 11	[A教材と加工の技術] ○組み立て ○仕上げ (6時間)	・材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。 ・部品加工、組立て及び仕上げができる。	・目的や条件に応じた加工方法を理解している。 ・工具や工作機械の特徴や正しい使用方法について理解している。	・作りたい製品のイメージを自分の生活にあわせて発想できる。 ・構想したものを図でわかりやすく表すために工夫をしている。	・加工に応じて、工具の選択を工夫しようとしている。 ・学習したことを応用して家庭や社会で活かすことについて考えようとしている。	
12 1 2 3	[D情報の技術] ○社会と情報との関わり ○コンピュータのながれと基礎 ○コンピュータと情報処理 ○情報通信ネットワークの利用 ○デジタル作品の設計と制作 マルチメディアの利用 (10時間)	・コンピュータなどの情報機器が生活や産業の中での利用を知る。 ・コンピュータと社会との関連におけるの発達や生活を変化させてきたかを知る。 ・コンピュータの歴史や種類、構成する基本的な装置を理解する。	・生活の様々な場面で活用されているコンピュータについて説明できる。 ・入力装置、出力装置、演算装置、記憶装置、制御装置の各装置のはたらきを説明できる。 ・コンピュータネットワークについての特徴を説明できる。	・身近な生活場面でコンピュータを利用した改善策を考えることができる。 ・仕事にあったソフトウェアを選ぶことができる。 ・情報通信ネットワークを使って、生活をよりよくする方法について考えている。	・生活の様々な場面で活用されているコンピュータについて説明しようとしている。 ・入力装置、出力装置、演算装置、記憶装置、制御装置の各装置のはたらきを説明しようとしている。 ・コンピュータネットワークについての特徴を説明しようとしている。	・見本作品を書画カメラから電子黒板に投影  ・Google Classroomからの作品提出

【技術科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	オリエンテーション(1時間)	・技術の授業の進め方、技術室のルールや使い方について知る。 ・授業で使う技術の教材を整え、使い方を知る。			・説明をしっかり聞き、理解しようとしている。	・説明プレゼンテーションを電子黒板に投影
5	【Cエネルギー変換の技術】 ○エネルギー変換機器の仕組み ○エネルギーの変換方法の仕組み ○回路図 (6時間)	・製作品に必要な機能と構造を選択し、設計ができる。 ・エネルギーの変換方法を知る。 ・機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる。	・電気エネルギーの交換方法や特徴を理解する。 ・基本的な電気回路の構成、電気の流れがわかる。 ・製作品の作業手順や組み立て方法などについて理解する。	・技術室の安全な使用方法で作業できる。 ・コード、プラグ、テーブルタップなど簡単な製作ができる。 ・電池の正しい処理ができる。	・授業に集中し、板書などをノートに記録しようとしている。 ・作業に積極的に取り組もうとしている。 ・身の回りの電気機器について関心をもとうとしている。	・説明プレゼンテーションを電子黒板に投影
6	【Cエネルギー変換の技術】 ○調整や電気回路の配線・点検 ○エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用	・エネルギー変換の技術の適切な評価をする。 ・活用について考える。	・エネルギーの種類や組織の名称や特徴、長所短所や違いの関係、注意点などを説明できる。 ・目的や条件に応じた加工方法を理解している。	・製作に必要な材料を選択準備し、制作品の組み立て配線ができる。 ・工具を正しく使用する。 ・工具や工作機械の安全な使用方法を意識する。	・電気エネルギーを利用する機器の種類を調べようとしている。 ・提出物を提出しようとしている。 ・製作に使用工具や機器の種類、用途および使用方法を調べようとしている。	
7	○「LEDライトの製作」 (6時間)					
9	【Cエネルギー変換の技術】 ○ペットボトル製作 (6時間)		・安全に留意した作業方法を理解し、説明できる。	・はんだごてを使い部品や接合における検査ができる。 ・工具の正しく使用する。	・工具のしくみに関心をもち活用しようとしている。 ・材料の特徴について進んで調べようとしている。 ・作業に積極的に取り組もうとしている。	・説明プレゼンテーションを電子黒板に投影
10						

【技術科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10 11	[A教材と加工の技術] ・生活や産業の中で利用される技術 ・金属の特徴 ・ものづくりの手順 (6時間)	・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考える。 ・材料の特徴と利用方法を知る。 ・材料に適した加工方法を知り、工具の使い方を理解する。	・技術の役割と発達による私たちの生活の変化について説明できる。 ・道具や機械の定義を理解し、説明できる。	・製作品が目的の動きをしない場合にその原因を追究し、検査、修正する。 ・交流電源・直流電源など、学習した内容を学校生活や家庭で活かそうとしている。	・生活の中で技術の果たす役割について調べようとしている。	
12 1 2 3	[A教材と加工の技術] ・キーホルダー製作 10時間)	技術分野の学習の流れを知り、見通しをもつ。	・製作品の使用目的と機能について理解している。 ・製作品に用いる材料の特徴と利用方法について理解している。 ・製作図の作成に必要な手順や構想を表示するために必要な知識を身につけている。	・目的の働きになるように調整ができる。 ・使用しやすいように工夫している。	・日常生活の身の回りの製作品に使われてる材料に関心をもとうとしている。  ・ものづくりの流れを考え、ノートにまとめようとしている。	・書画カメラを用いて、見本作品を電子黒板に提示  ・Google Classroomから作品を提出  ・動画を作成させ一人1台端末で提出

【技術科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	オリエンテーション (1時間)	技術の授業の進め方、技術室のルールや使い方について知る。 授業で使う技術の教材を整え、使い方を知る。			・説明をしっかりと聞き、理解しようとしている。	・説明プレゼンテーションを電子黒板に投影
5 7	[A教材と加工の技術] ・製図(3時間)	・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考える。 ・製図を通し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、改題を解決する力をつける。	・技術の役割と発達による私たちの生活の変化について説明できる。 ・決められたルールを理解し、それを正しく製図に落とし込める。	・技術の発達や生活の変化について考え、教科書やその他の資料を参考に調べまとめ方を工夫している。	・生活の中で技術の果たす役割について調べようとしている。 ・製図の流れを考え、ノートにまとめようとしている。	・説明プレゼンテーションを電子黒板に投影  ・書画カメラを通して、作業方法等を電子黒板に投影
9 10	[B生物育成の技術] ・生物の成長の管理 ・生物の育成環境管理 ・生物の品種改良 ・栽培と検査 (3時間)	・生態に関する知識をつける。 ・成長を管理する技術の原理や特性に関する知識をつける。 ・品種改良された生物の歴史や生態に関する知識をつける。	・育成生物のサイクルを理解している。 ・生物育成の技術の役割を知り、自分たちの生活と関連づけて説明できる。	・育成生成物と野生生物との違いに気づき、人間生活を豊かにする育成技術について説明できる。	・作物と地域による栽培時期の違いを気候や風土から説明しようとしている。	
11 12	[A教材と加工の技術] ・キーホルダー製作 (9時間)	・技術分野の学習の流れを知り、見通しをもつ。	・製作品の使用目的と機能について理解している。 ・製作品に用いる材料の特徴と利用方法について理解している。 ・製作図の作成に必要な手順や構想を表示するために必要な知識を身につけている。	・目的の働きになるように調整ができる。 ・使用しやすいように工夫している。	・日常生活の身の回りの製品に使われてる材料に関心をもとうとしている。 ・ものづくりの流れを考え、ノートにまとめようとしている。	・書画カメラを通して、見本作品を電子黒板に提示
1 2 3	[D情報技術] ・生活や社会を支える情報社会の技術 (2時間)	・情報の表現の特性等の原理・法則と基礎的技術の仕組みを理解する。 ・技術に込められた問題解決の工夫をする。	・コンピュータの基本操作を理解している。	・効果的に表すグラフ等を選択することができる。	・情報に関する製品やサービスに込められた工夫やしくみに気付こうとしている。	・Google Classroomからの課題提出(一人1台端末)